

大分東週報



国際ロータリー第2720地区
大分東ロータリークラブ



R.I.テーマ
「世界に希望を生み出そう」
大分東RCスローガン
「Come together」



画「初めてのデジ絵で描いた大分駅」前田 修二

2023-2024 第2回 例会 2023.7.13 No.2787

ガバナー 膳所 和彦
会長 前田 修二
幹事 佐藤 純也

本日のプログラム（7月13日）

◎12:30

- 開会並びに点鐘
- ロータリーソング斉唱「我等の生業」
会食
- ゲスト・ビジターの紹介 前田 修二 会長
- 会長の時間 前田 修二 会長
- 幹事報告 佐藤 純也 幹事
- 出席報告 瀬口 清文 出席委員長
- 委員会報告
- ニコボックス 竹内 崇 親睦委員長
- 今週のお祝い

<パートナー誕生日>

挟間 直己会員 俊江夫人 7月26日

<会員誕生日>

木暮 賢児会員 7月14日

角山 光邦会員 7月14日

那賀 圭介会員 7月24日

◎13:00

- 例会企画
阿部克哉会員の卓話
「自己紹介・IAの活動について」

第1回（7月6日）例会記録

前田修二会長・佐藤 純也幹事 就任の挨拶

・出席報告

会員 総数 32名 (免除 会員 9名)	7月6日（先週）				6月15日 出席率 (修正)
	出席会員数	出席率	ゲスト	ビジター	
	23名	85.19%	1名	1名	90%

次回の例会（第3回7月27日）

夜の例会～（有吉・池邊・中前会員 歓迎会）

職業奉仕スピーチ

7月13日 平岩禎一郎

7月27日 織部 和宏

8月17日 角山 光邦

会長の時間（令和5年7月6日）

会長 前田 修二

ロータリー歴：7年、職業分類：システム開発の前田です。今年度、大分東ロータリークラブの会長を拝命いたしました。ロータリー経験の浅い私ではありますが、皆様のご協力をいただきながら、伝統ある大分東ロータリークラブの名に恥じないように精一杯努力して参りたいと思いますので、1年間宜しくをお願いいたします。そういう私の運営方針（テーマ）ですが、「Come Together」とさせていただきます。日本語で言うなら、「ワイワイガヤガヤ楽しくやろう＝ワイガヤ」だと思っています。クラブの活動に積極的に活かしていけたらと考えています。また、先の委員長会議などで決まった今年度の詳細な運営方針をいくつかご紹介します。

- ・例会の食事を従来より早めの12:15辺りから開始し、12:30からの例会を約10分長めにします
- ・この10分間を使って、多くの会員の皆様に前に出て簡単なスピーチをお願いしたいと思います

具体的には、

- ①職業奉仕スピーチ（輪番制で一人／例会、会員各社のトピックスなどを発表）
 - ②例会の日の週報に記載の記念日から、特に誕生日の方を中心にしたスピーチ
- *上記①+②でスピーチされた方にはニコボックスをお願いするようにします
- ・例会の座席を指定席とし、3カ月を目途に変更していきます。多くの方との会話を楽しみ下さい
 - ・例会の食事ですが、100万ドルの食事以外に、3カ月に一度程度、「カレーの日」を設けます
 - ・結婚記念品は従来のワインとジュースに加えて、酒と焼酎も選択できるようにします
 - ・また、会員の会費についても一部変更しておりますので、詳細は例会時の資料をご参照下さい

幹事報告

- ・7月のロータリーレートは1 \$=145円です。
- ・地区事務所より『九州4地区合同公共イメージ向上イベント開催のご案内』が届いておりますので回覧しております。日時は10月28日（土）9時～18時までのいずれか、場所は大大市内の予定です。詳細は決定ごとにお知らせがある予定ですが、是非日程の確保をお願いしますという内容でございます。
- ・ロータリー文庫運営委員会より、ロータリー文庫からのお願いとWEBサイト利用方法のご案内を回覧しています。
- ・大分RC福田様より、大分日米協会主催「2023 Oita Japan Festival 出展事業」出展者募集のご案内が来ておりますので本日配布しております。
- ・大分南RC阿南様より大分県立美術館で開催中の朝倉文夫展のパンフレットをお預かりしておりますので、本日配布しております。招待券を10枚いただいておりますので、ご希望の方は帰りに事務局にお申し付けください。

ニコニコボックス

●二宮吉男名誉会員（5口）

これから1年 前田会長と会員の皆様のご活躍を期待！
ナンバーワンにならなくて良い！オンリーワンのロータリークラブを目指してください。

●平岩禎一郎会員（5口）

報告が遅れて申し訳ありません。
この度、創立60周年記念誌の制作にあたり、退会されました園田浩二郎テレビ大分元社長の編集長の下で、品格・デザインはもとより、我がクラブの奉仕活動が活き活きと表現され、素晴らしい記念誌となりました。
会員皆様のご協力に対して5口申し上げます。

特報版

- 7月のプログラム 7月20日（木）休会
7月27日（木）夜の例会
- 8月のプログラム 8月4日（金）ガバナー公式訪問 ※トキハ会館4F 例会場にて12:30～
8月10日（木）休会

入会式



中山陽介会員



有吉吾一会員



池邊強会員

会長就任の挨拶

大分東ロータリークラブ
会長 前田 修二

前年度に創立60周年を迎えた大分東ロータリークラブには歴史があります。その重責を会長として務めさせていただくことになり光栄に存じます。ロータリー歴7年と未熟者ではありますが、会員の皆さまのお力をお借りしながら、精一杯励んでまいります。

本年度のゴードン R. マッキナリー RI会長のテーマは「世界に希望を生み出そう」です。そして、「平和の推進」と「メンタルヘルスへの取り組み」の2点を具体的なビジョンとして示しています。これを受けて、第2720地区の膳所ガバナーは、「ロータリーは学び舎であり、また遊び場である」とし、2つ目のテーマとして「そして今、ロータリーアクションは世界を変える」としています。

大分東ロータリークラブの希望とはロータリーアクションと

はと考えた時に私のテーマは、膳所ガバナーの影響大ですが「Come together」としました。もう少し具体的に言うなら、「ワイワイガヤガヤ楽しくやろう」です。あのクラブはワイワイガヤガヤといろんな活動やってるね、ちょっと覗いてみるかといろんな人が集まり、一緒に知恵を出し、楽しく活動することをイメージしています。

クラブ会員の活性化のためにも、会員増強に繋げるためにも、クラブとしてできるだけ積極的に活動し、行動した結果を発信することで、周囲の方々に楽しそうな活気のあるクラブだなどと思われることが必要だと感じています。

会員の皆さまのご協力がなければ実現はできませんので、宜しくお願いいたします。

幹事就任の挨拶

大分東ロータリークラブ
幹事 佐藤 純也

この度、歴代の諸先輩方が築き上げた歴史と伝統のある大分東ロータリークラブの2023-2024年度（第61年次）の幹事を務めさせて頂くことになりました。

会員歴は4年と浅く、ロータリーへの理解も十分に出来ておりませんが、この大役を務めさせて頂く中でロータリーへの知識も深めていきたいと考えております。

2023-2024年度のゴードン R. マッキナリー IR会長や膳所和彦2720地区ガバナーの基本方針を受けて、前田会長は、2023-

2024年度のクラブテーマを『Come together』（ワイワイガヤガヤ楽しくやろう）とされました。

私もそれぞれの年度方針、ことさら前田会長のクラブテーマ達成に向けて会員皆様との相互理解・親睦をさらに深め、前田会長とともにポストコロナの年度を理事役員の皆様をはじめ、全ての会員の皆様より、ご指導ご鞭撻を頂きながらスムーズで実りある有意義なクラブ運営が出来るように努めて参ります。一年間、何卒宜しくお願い申し上げます。

会長・幹事 引継ぎ式



家庭集会の開催報告

日時 6月13日（火） 18時～20時
場所 母屋
出席者 平岩会員（リーダー）、挟間会員、幾留会員、安藤会員、森会員、原野（レポーター）
テーマ 5年後の大分東RCについて

はじめにリーダーである平岩会員より家庭集会の成り立ちをお話しいただき、本日の会をスタート。5年後のクラブを考えるにあたり、全国と同様に大分も人口は減少トレンドである中、日本の経済・産業の発展、世界における地位向上に向け必要なことは何か？といった大きな議論から始まりました。

その後は美味しい料理とお酒のせい、話題はいつしか各会員の輝かしい過去のお話へ。特に幾留会員の東京時代のご経験は非常に幅広くかつディープな世界であり、みな興味津々で30分ほど聞き入ってしまいました。

クラブの5年後を考えると、やはりいかに会員増強していくかが重要だということに一致しましたが、現実には厳しく次のような意見がありました。

- ・異業種交流会なども活用し声掛けするも、なかなか入会につながらず苦慮している。
- ・年間で必要となる費用は年会費その他を合計すると数十万となるため、これに見合った活動としていくことが必要ではないか。
- ・新規候補対象者があつた際、個別に当クラブの魅力を本人へ伝える等、フォロー体制を整えたい。
- ・地元企業以外の会員をさらに拡大することで、知見や視野が広がりクラブの魅力が増すのではないか。
- ・新規会員獲得はクラブ全員で取り組み、チャンスを逃さないよう常にアンテナを張っておきたい。
- ・近隣には複数のクラブがあり、それぞれカラーがある。我々の良いところは年齢を超えて非常にフレンドリーで雰囲気良く、誰もが楽しんで活動できるところにある。この魅力をいかに世の中へ伝えていくかが将来のカギになるのではないか。

当日お集まりいただいたチーム②のみなさま、熱いディスカッションとなりあっという間の2時間でした。皆様のご協力に感謝申し上げます。

（岩崎グループ）

日時：2023年6月26日（月） 18:00～
場所：本母（都町1丁目2-5）

出席者（敬称略）：岩崎 哲朗・二宮 吉男・菅 雅幸・前田 修二・三島 麻衣・竹内 崇（幹事）

すでに4日連続での飲み会が続いていた私でしたが、焼き鳥や焼き肉といったこの4日間の店とは趣の違う『本母』での家庭集会を楽しみにしていました。

当日、10分ほど前に店に到着したところ前田次期会長がすでに店の玄関前におられ、「早いですね」とお声かけしながら、都町の喧騒とは一線を画した佇まいの玄関をあけ、店内へと入って行きました。

そして、部屋の扉を開けたところ、なんとすでに岩崎先生と三島会員がすでに日本酒でいい感じになっているではありませんか。

すぐに追いつくようにと岩崎先生がご準備してくださった日本酒が次々と注がれていきます。美味しく飲みやすい7種類の日本酒。他の酒とチャンポンせず日本酒だけだと明日には残らないよという言葉信じて一口また一口と。

酔ってしまう前に今回の議題「5年後のロータリー」について話を切り出しました。

二宮名誉会員のご指導のもと、あるべきロータリークラブの姿とは何なのかと・・・

リーダーである岩崎先生から5年後は若い会員も増え古参会員との間に若干の摩擦が生じるものこのこれまでの伝統的なクラブ奉仕の精神のもと、活発で調和のとれたクラブとなり、女性が主導的な役割を担っているのではないだろうかとの話があり、それを聞き「私の目指した方針が5年後に実現するかと思うと嬉しい限りだ」と菅会長が喜び、さらに前田次期会長からも「私の年度はその5年後のための礎としなくてははいけない」との決意表明までいただきました。そんなあるべき姿のために三島会員に対して参加者からは非会長との声があがったのですが、まずは幹事をしてロータリーについて勉強したいとの前向きな返答がありました。これを聞いた私は大分東ロータリークラブの明るい未来を感じずにはいられませんでした。

そうしているうちにメの料理の時間となり、私は岩崎先生おすすめの茶そばを大盛りにした上で、豊後牛の入ったカレーライスまで美味しくいただきました。

日本酒だけであればとスタートしながら、そのあと高級なウイスキー・焼酎が次々と振る舞われたことは言うまでもありません。

家庭集会：2023.6.13（火）

テーマ：「5年後の大分東ロータリークラブについて」

グループ1

参加者：織部和宏リーダー、岡村邦彦会員、阿部克哉会員、服部剛（幹事）

メンバーは当初6名でしたが、日程調整がつかず、やむなく瀬口清文会員と佐藤泰則会員を除く4名での開催となりました。

先輩方3名の皆さんは大分東ロータリークラブ在籍期間がとても長く、ロータリーの歴史や精神、考え方等について、沢山のご訓示をいただきました。

織部リーダーからは、昔の大分の人々の動きや情景等興味深いお話をいろいろと伺いました。大分市内の職場で業務を終えると、懇親会のために別府にみんなこぞって馳せ参じるため、別府は大変な賑わいだった一方、大分の都町などは全く飲み屋街ではなかったとのこと。そして、大分でも以前から長く繁盛したお店は、近年のコロナの影響もあり殆どが姿を消してしまって寂しい限りであること等の話は、大分出身でない自分には大きな驚きでした。

岡村会員からは、弁護士になられた経緯や新米弁護士時代に弁護士たるものの心得を徹底的に教え込まれて今日まで頑張ることができた事務所のお師たる先輩弁護士のお話等を熱く語っていただきました。仕事には覚悟と哲学が必要なのだと改めて痛感いたしました。

そして、5年後の大分東ロータリークラブのあり方については、中間層にあたる年代のメンバーがどんどん若い人を見つけてくることが何より大切だと結論に達しました。

以前から、錚々たるメンバーが所属し活動されてきた極めて伝統ある大分東ロータリークラブ。その中に長く所属されてきた大先輩方のお話は何にも代えがたいものです。この6月で岩崎哲朗大先輩が退会されるのが大変残念ではありますが、まだまだ大先輩が居ていただいていますので、我々はそれを受け継ぎ、量的にも質的にも大分東ロータリークラブを発展させていきたいものだと改めて感じました。ご参加の皆さま、ありがとうございました。

幹事 服部

2023.6.28

「5年後の大分東ロータリークラブについて」

グループ3

角山リーダー、那賀会員、佐藤佳郁会員、木暮会員、熊野（幹事）

角山リーダー、出席会員より

大分東ロータリークラブの歴史と今後の大分東ロータリーについて2時間以上大いに語り合いました。いつもの夜例会以上に多様な話題で盛り上がり、笑顔の絶えない時間を過ごすことができました。

大分東ロータリーは過去60名位の会員がいた時期もあり、ステイタスもあった。これからは特に地元の会員を中心に人間性のある方を誘い、会員増強をしていく必要がある。特に女性会員をもっと増やし、会長、幹事などの要職にどんどん就いていただきたい。また、入会5年目位の会員ももっと活躍して欲しい。今後、大分東ロータリーも時代に合わせて変化していくことが大切だと感じている。ロータリーの基本は100%出席であるが、メイキャップの際には積極的に他のロータリーの例会に参加して欲しい。日本全国どここの例会でも、アメリカの例会にも参加できるし、皆が暖かく迎えてくれる。そうすることで改めて大分東ロータリーの良い所が理解できるのではないだろうか。

初めての家庭集会参加でしたが、日程等の調整にグループの皆さまのご協力を頂き、開催することができました。今後も大分東ロータリーの一員として微力ながら尽力していきたいと考えます。

幹事 熊野

ロータリーソング

我等の生業

我等の^{なりわい}生業 ^{なりわい}さまざまなれど

集いて囋る心は一つ

求むるところは ^{やわらぎ むつみ}平和親睦

力むるところは 向上奉仕

おお ロータリアン我等の集い

国際ロータリー第2720地区 大分東ロータリークラブ

創 立 昭和38年3月6日

例 会 日 木曜日・12時30分

例 会 場 トキハ会館4F「つばきの間」

会 長 前田 修二

幹 事 佐藤 純也

事 務 所 〒870-0021

大分市府内町1-2-15

（トキハ会館4F）

TEL532-0611 FAX532-8386

ホームページ <http://www.higashi-rc.com/>

メールアドレス oitahigashirc@mist.ocn.ne.jp